

校訓 「高く 大きく 美しく」

教育目標

「誇り高く 夢大きく 心ころ美しく
よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校 学校通信 NO.8 2021.7.19 発行 TEL 0880-34-4137: 文責 山崎利彦

明日が1学期の終業式 ～成長へのステップを確実に歩んでいます～

4月7日に150名の新入生を迎え、令和3年度がスタートして早4ヶ月近くが過ぎようとしています。明日、1学期の終業式を迎えますが、最終日の学活は配布物も多いことから、1学期最後の学校通信を一足先にお配りします。この期間、コロナ感染予防への配慮をしながらも、何とか教育活動を展開できたことに少し安堵の気持ちを持っています。しかし、修学旅行等を延期しなければならなかったことや、四万十市内のコロナ感染状況が厳しくなる中で本校が臨時休校措置をとる状況になった時には、各ご家庭にご負担やご心配をおかけし、申し訳ない気持ちを持ちながらの1学期でした。

また、旧蕨岡中・大川筋中校区から本校へ通学するようになり、スクールバスの運行が始まりましたが、十分な連絡ができず、課題が生じたケースもありました。一方で1学期の授業日は登下校ができないほどの四万十川の増水もなく、バスの運行ができたことは幸いでした。生徒たちも中村中学校での学校生活を順調に充実させているように思います。保護者はもちろんのこと、学校の教育活動を支えていただいた皆様に、改めてお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

さてこの1学期、学校の中で大きく変化したことの1つは、**タブレット（一人1台端末）の活用**です。昨年度、通信環境が急速に整えられ、本格的な運用は5月連休明けからでした。運用にあたって心配することも多くありましたが、実際に使いたすと、なんと生徒たちの適応の早いこと！そして、若い先生方の適応の早いこと!!後ろをついていっているのは、管理職かもしれません…。調べたり、まとめたり、聴いたり、細かく見たりと活用の場面は様々ですが、生徒の様子からは、間違いなく能動的（主体的）に学ぶ姿が見られています。きっと、これからの学校はますますこうなるのだろうと感じています。



また、授業公開もたくさんありました。幡多地域の中で、毎年何らかの指定校として研究実践をしている本校ですので、毎回、生徒も当たり前のように公開授業に臨んでくれています。そして、教員に協力して、いい授業を創ろうと努力してくれています。その**取組を通して、教師も鍛えられ、生徒も高まる**と感じた1学期でした。



他校の先生方や教育関係者の方々からは、生徒の落ち着きや授業に向かう姿勢をほめてもらうことも度々です。そして、生徒たちの昔を知っている先生からは、中学生になってすごく成長している姿を評価してもらっています。そんな声を聴くと、本当にうれしく思います。一方で、授業の質にゴールはありません。生徒と教師が一緒になって、日々の授業の充実により2学期も取り組みたいと思います。

恒例の“体育祭り”開催 ～生徒も熱く戦いました～

7月16日(金)、校内の取組として“体育祭り”を開催しました。本来は、グラウンドで実施したかったのですが、あいにくの雨のため、体育館や室内での開催とし、サッカー、ドッチボール、ボーリングを学級対抗で実施し、総合優勝を目指して各学級が熱く戦い、応援し、団結力を高めました。また、この体育祭りに向けては、各学級で“学級旗”づくりにも取り組み、創意工夫ある作品が体育館に掲示されていました。放課後、各学級で丁寧に学級旗づくりに取り組んでいる様子を見ると、本番の試合だけでなく、それまでの過程も含めて生徒同士のつながりが深まったと思います。

総合優勝は3年3組、学級旗賞は3年2組でしたが、どの学級にも拍手を送ります。この雰囲気は今の中村中の良さだと実感した行事でした。



中村中出身“小松 沙季”選手 ～パラリンピックでの健闘を期待しています～



本校の校舎東側のフェンス沿いに左の横断幕が掲げられていることをご存じでしょうか？平成21年度の本校の卒業生である小松沙季さんが、この夏に開催される

パラリンピックの女子カヌー競技への出場権を手にした！というニュースが届き、四万十市が横断幕を作成し、掲げてくれました。小松さんは、中学校時代バレー部のエースアタッカーとして活躍し、チームの県上位進出に貢献していた生徒だと記憶しています。その後、中央高校に進学し、活躍をしていました。

そんな彼女が、パラのカヌーに挑戦していたことは知りませんでした。持ち前の精神力や秀でた運動能力を活かし、次のスポーツに挑戦していたことは、本当に素晴らしいことだと思います。また、前向きに挑戦する彼女の姿勢から、在校生も学ぶことがたくさんあるように思います。コロナ禍の中での大会になりますので、会場の中で応援の声は少ないかも知れませんが、四万十市から応援のエールを送ります。

パラリンピックでの健闘を心から期待しています！がんばってください！

《スクールカウンセラー(SC)に関するお知らせ》

以前、名前は紹介しましたが、本年度、本校に週2回勤務してくれているSCは、男性の森島SCです。生徒の悩みや相談、あるいは、教員へ対応のアドバイス、ケースによっては家庭訪問にも対応していただいています。また、学校配置のカウンセラーとは別に、四万十市教育研究所(旧田野川小学校校舎)に配置されているカウンセラーもおられ、今年度は女性の佐田カウンセラーが勤務されています。いずれにしろ、不登校や欠席傾向の多さが目立つ四万十市ですので、**いろいろな悩みや相談にできるだけ門戸を開き、対応の窓口を広げようと取り組んでいます。**相談される方の守秘義務は守るのがカウンセラーの義務ですので、保護者や生徒のニーズに応じて安心して相談にのってもらえます。

夏のこの時期、生徒は家庭生活が多くなります。また、休み明けに生活リズムがもどらず、2学期、学校を休みがちになる傾向も見られます。もし、何か相談したいことがあれば、気軽に学校・担任までご連絡ください。状況に応じて、それぞれのカウンセラーにつなぎたいと思います。

☆**森島 健太 SC**：毎週水・金、中村中学校に勤務。男性のSCです。学校での相談が基本となります。

☆**佐田 志保 SC**：毎週月・金、教育研究所に勤務。女性のSCです。時々、学校に来てくださいます。

相談は、教育研究所でも学校でも対応してくれます。

相談をしたいときは → 中村中TEL 34-4137 教育研究所TEL 32-1020 へご連絡ください

あいさつは、反応がなくても相手に伝わっています！

この1学期、ちょっと耳に入ったいい話を最後に2つ紹介します。どちらもありふれた日常だと思いますが、相手の方が中学生を肯定的に評価してくれていることが嬉しかったできごとです。中村中の生徒の行いが、地域の方を少し温かい気持ちにさせる…。学期末の最後に紹介します。

グラウンドで野球部が練習していると、通りかかった人に「こんにちは！」と元気な挨拶の音が響きます。以前から同じ光景はあったのだと思いますが、この挨拶に感動してくれた方がおられ、昨年度から夏前に、多くのアクエリアスを野球部に差し入れをしてくれています。本当にありがとうございます。技術はもちろんですが、生徒達はグラウンドで“感謝の気持ち”も学んでいます。

ある会の終わりに、「校長先生、よく中学生が横断歩道を渡ったとき、止まってくれた車におじぎをしているのを見るんですよ。ほめてあげてください。」と声をかけてくれることがありました。私も以前、他の場所で同様の経験をしたこともあり、頭を下げてくれた子どもに好感を持ったことでした。さりげない行動ですが、相手の方に“感謝の気持ち”が伝わっています。本当に、良い習慣だと思います。

☆登校日 8月2日(月)8:30～(午前のみ) 中間の宿題、しっかり提出してください。

☆2学期始業式 8月26日(木)8:15～(給食後、専門部・部活動があります) 全員の元気な登校を願っています！

夏休み期間中の学校開庁日：8月9日～8月20日 ※基本的に教職員の日直はしません。急用は担任まで連絡してください。